

学校名		佐賀市立金立小学校																
1 前年度 評価結果の概要		・校内研究を中心に全職員で共通理解・共通実践を図りながら『金立小 授業づくりチェックシート』に沿って、普段の授業の振り返りや見直しを行い、授業改善に努めることができた。学習規律や生活規律の徹底に加え、児童の学びの質を高めるような授業づくりを継続していきたい。 ・心の教育では、職員の研修や特別支援教育理解についての人権教室を実施し、各担当者の提案を基に組織的に取り組んだことがいじめ防止や人権意識の向上につながった。「Q-U」の結果を生かし、開発的生徒指導の観点から児童一人一人に役割を与え、集団生活への満足度を向上させることができた。今年度も報告・連絡・相談を密にして学校全体でよりきめ細かな支援体制づくりに取り組む。 ・学校運営に係る業務改善については、自発的勤務時間の上限45時間を平均では下回ったが、適正な勤務時間の管理に加え、仕事の質の向上を図るため、業務内容について定期的な点検・改善を行い、働きがいのある職場づくりに努める。 ・前年度は、様々な場面で地域との交流や小中合同の交流を制限なしで実施することができた。コミュニティスクールを活用し形態等を工夫しながら地域連携や幼小中連携を進め、社会に開かれた教育活動を充実させていきたい。																
2 学校教育目標		志高く 心豊かに 学ぶ 金立																
3 本年度の重点目標		①目指す子ども像（かしこい子・やさしい子・たくましい子・ふるさとを愛する子）の確かな実現 ②特別支援教育の充実 ③働きやすい職場環境づくり ④地域・保護者に開かれた学校づくり																
4 重点取組内容・成果指標												中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目																		
		重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価									
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	進捗度 (評価)		進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言									
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践 普段の授業の不断の見直し	○教職員アンケートで、「授業づくりチェックシート」に沿って、普段の授業の振り返りや見直しを行っていることに肯定的に回答した教員が92%以上。 ○1学期に児童アンケートで実態把握を行い、「学習の約束」を見直す。その上で、1月のアンケートでままりを守ることができていると肯定的に回答した児童の割合が90%以上。加重平均3.5以上。 ○児童アンケートで「読書をするのは楽しい」と肯定的に回答した児童の割合が91%以上。	○「授業づくりチェックシート」を活用した本校校内研の取組を徹底していく。普段の授業の振り返りや見直しを行い、互いの授業を見合って意見交換を行うことで、職員一人一人の課題解決を図っていく。 ○「金立小学校 学習の約束」を児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、見直し・改善を図る。 ○読書指導については、読書活動のさらなる充実を図り、発達の段階に応じて量から質の向上へと転換を図っていく。 ・毎月第3木曜日に人権集会または、人権教室を行い、児童の人権意識の高揚を図る。 ・学校全体で道徳の別葉を作り、実施する。 ・授業参観で「ふれあい道徳」の授業を行い、保護者への啓発を図る。								【確かな学び部】・学力向上対策・研究主任							
●心の教育	●児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○児童アンケートで「人権集会などを通して人権について深く考えることができた」に肯定的に回答した児童の割合が90%以上 ○学校生活アンケートの道徳に関する項目において、肯定的な回答をした児童の割合が90%以上。 ○読書において、各学年の目標冊数を達成した児童の割合が80%以上。									・道徳教育推進教員 ・人権・同和教育担当							
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○教職員アンケートで「いじめの未然防止及び早期発見・早期解決のための組織的・継続的な対応ができている」に肯定的に回答した教職員の割合が95%以上。 ○児童アンケートで「学校が楽しい」と回答した児童の割合が85%以上。	・毎月子ども支援会で、気になる児童や問題行動を確認するとともに、学年グループを中心に複数の教員で児童に関わる。いじめにつながる言動の早期発見・早期対応に努める。 ・毎月の「いじめ・いのちを考える日」に「生活と心のアンケート」を実施し、気になる児童について情報を把握して面談等を行い、解決を図る。 ・人権教室や道徳の授業を通し、いじめをしない、いじめを許さない児童を育てると共に、支持的風土のある学級づくりをする。								【 豊かな心部 】 ・生徒指導 ・教育相談							
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒90%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒88%以上	・中学校区の共通取組「出番・役割・承認」を全教職員で具現化する。 ・キャリアパスポートを活用し、児童一人一人の個人目標の自己決定に向けた指導の充実を図る。また、その目標達成に向けた取組や活動の振り返りを記録し、自己の変容を意識させるなど、キャリア教育の充実を図る。									・教務主任 ・特別活動						
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」 ②「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童75%以上 ②「健康に良い食事をしている」児童80%以上 ②給食後の歯みがき100%	・「さわやかタイム(縦割り活動)」を実施し、戸外での運動を推奨する。 ・給食便りで朝食の必要性や給食献立について伝える。年2回、朝食についてのアンケートを実施する。 ・養護教諭や栄養職員、歯科校医等と連携して、食育や健康に関する指導や授業を行う。 ・「保健タイム」を実施し、養護教諭作成のスライド教材を活用した担任による保健指導を行う。								【 健やかな育ち部 】 体育主任 ・食育、給食指導 ・健康教育、保健指導 ・学校栄養職員							
	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・教職員から業務改善のアイデアを募り、実践していく。 ・教職員各自が自身の業務改善の目標と具体的手立てを考え、取り組む。 ・定時退勤日(金曜日)を設定するとともに、定時退勤日以外の日も退勤時刻を早められるよう、声掛けをしていく。 ・週に1度の連絡会の時間が長いので、短時間で終わることができるように、工夫改善していく。 ・地域ボランティアを活用し、各種教育活動における教員の負担軽減と活動の質の向上を図る。							・校長 ・教頭 ・教務主任							
	○服務規律の保持と働きやすい職場環境づくり	○教職員アンケートで「学校の内外を問わず、危機管理意識をもって行動できている」に肯定的に回答した教職員が100% ○年間を通して、教職員の信用失墜行為ゼロ	・毎月10日を「不祥事根絶ゼロの日」の取組の日とし、不祥事予防のための個人チェックをすることにより、職員の危機管理意識を高める。 ・「管理職による呼びかけや「校長便り」の発行などを通して、具体的に実行力のある指導を行う。								・校長 ・教頭							
●特別支援教育の充実	○個々の児童の「困り感」に寄り添った教育の実現	○教職員アンケートにおいて、「特別支援教育に関する専門性が向上した」について肯定的に回答した教職員の割合が85%以上。「特別支援的な配慮を心掛けている」について肯定的に回答した教職員の割合が90%以上。	・年間3回以上の研修会を行い、教員の専門的知識と行動力を高める。 ・子ども支援会や気になる児童の事例研究などを通して児童理解に努め、個の「困り感」に寄り添った指導・支援を行う。 ・各学年、金立特別支援学校との交流計画を立案し、交流を行う。								・特別支援教育(特別支援CO)							
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目																		
		重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者							
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	進捗度 (評価)		進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言									
○地域連携教育	○ふるさとを愛する児童の育成と地域・保護者に開かれた学校づくり	○児童アンケートで「ふるさと「金立」に愛着をもち大切にしようと思う」に肯定的に回答した児童の割合が95%以上。 ○保護者アンケートで「学校と地域が連携しながら取り組んでいるか」について肯定的に回答した割合が95%以上。 ○平均、週に3回以上の学校HPのお知らせ、学校HPのイベントギャラリー等の更新を行う。 ○年間を通して、40号以上の学校便りを発行する。	・金立町の教育資源や人材等を活用した「金立郷土かるた大会」や「金立探検隊」などを通して、児童がこれまでに以上にあるさと「金立」のことを知り、愛着をもつことができるようにする。 ・「千の花の会」との植樹(3年生)や「美化美化大作戦」への児童の参加などを通して、地域とつながる取組の充実を図る。 ・これまでの連携実績を踏まえ、今後の金立小学校地域連携モデルを構築する。							・校長 ・教頭								
○幼保小中連携	○雄飛学園教育構想による金泉校区の教育推進	○幼保小中連携協議会や雄飛学園教育研究会において、職員の交流や連携を図る。 (連絡協議会 3回、合同研修会 3回の実施)	・金立幼稚園、千布幼稚園の1日学校体験(12月)の充実を図り、新入学児童の内滑な入学につなげる。 ・金泉中、久保泉小の教職員との相互フリー参観を計画的に実施し、小小連携、小中連携を推進する。 ・教職員の3校合同会議・合同研修を行い、雄飛学園教育の取組の推進を図る。 ・「出番・役割・承認」の取組の徹底を図る。							・幼保小中連携(教務)								
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育																		
5 総合評価・次年度への展望																		